



# わたなべ 渡部りょう通信

発行  
渡部りょうとつくる平塚

平塚市代官町13-11  
電話090-9602-6191  
info@watanabe-ryo.net  
https://watanabe-ryo.net

1979年生まれ(46歳)、2児(10歳と4歳)の父。花水小、浜岳中、江南高校、神奈川大学卒業、慶應義塾大学大学院修士課程修了。元平塚市職員、元プロスノーボーダー。2015年にステージ4の舌がんを患い、舌の半分と首のリンパ節を切除する大手術を乗り越える。2017年に全日本スノーボード技術選手権大会準優勝。平塚市職員を経て、2019年に平塚市議会議員に初当選。2023年に2期目当選。



### かなちゃん手形の制度変更およびICカード化について

お馴染みの乗車券「かなちゃん手形」につきまして、キャッシュレス化およびデジタル化を推進する目的として、2025年3月10日より交通系ICカードを用いたフリーバスタイプ(乗車券方式)の「ICかなちゃん手形(仮称)」を新たに発売いたします。これに伴い、現在発売中の1乗車につき現金100円をお支払いいただく紙製の「かなちゃん手形(現行制度)」の発売につきましては2025年6月21日～8月31日の発売期間をもって終了させていただきます。

なお、ご購入いただいた「かなちゃん手形(現行制度)」につきましては券面記載の有効期間までご利用いただけます。また、2026年6月以降、スマートフォンアプリを使った「スマホかなちゃん手形(仮称)」の発売も予定しております。

現行			変更後		
3ヶ月券	6ヶ月券	1年券	3ヶ月券	6ヶ月券	1年券
3,500円	5,900円	10,800円	15,000円	28,500円	54,000円

←1乗車 現金100円  
2025年6月21日～8月31日の発売期間をもって終了となります

←フリーバス  
2025年3月10日よりいつでも購入可能

<お問い合わせ先> 神奈川中央交通(株) バス案内センター (平日9:00～17:25) TEL: 0463-22-8833

かなちゃん手形の制度変更をお知らせするバス広告

## 高齢者の移動負担増にどう向き合おうか 全国医療費47兆円超を背景に

高齢者の移動負担や47兆円を超える医療費の増加など、将来の負担をどう抑えるかが大きな課題です。6月定例会ではこれらに加え、日産車体湘南工場や神奈川大学跡地についても質問しました。また都市建設常任委員会委員長に就任し、市民が安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。

神奈川バスの高齢者「かなちゃん手形」が、ICカード型の「かなちゃん手形」が、IC

「かなちゃん手形」に移行していきます。これにより、週2日バスを利用していた高齢者は、年間で2万円以上の負担増になると試算されています。移動は健康づくりや人とのつながり、生きがいにつながる大切なものです。高齢者の医療費は年間約80万円とも言われ、移動支援はこうした将来の医療・介護費を抑える大きな鍵です。こうした機会が減ることは、将来的に医療・介護費用の増大を招きかねません。

市は「かなちゃんパス」は民間事業者のサービスであるとして、現時点で補助を予定していません。しかし、私は議会で繰り返し、高齢者の皆さんが安心して外出を続けられるよう移動支援の必要性を訴えまして、これからも粘り強く提案し続けます。

## もっと進めたい 禁煙と健康づくり

市のたばこ税収は2025年度当初予算で約18億4000万円と、前年度より約1400万円増加しました。これは売り渡し本数が前年度より増え、喫煙者の減少ペースが鈍化していると考えられます。市ではLINEやホームページで禁煙を呼びかけていますが、神奈川県や他の自治体では禁煙週間に合わせて、公共施設をライトアップしたり、街頭イベントを実施するなど、より積極的な啓発が進んでいます。

私は議会で、平塚市でもこうした先進事例を参考に禁煙支援や受動喫煙防止策をさらに進めるよう提案しました。根本的に受動喫煙を無くすには、やはり喫煙者を減らしていくことが欠かせません。だからこそ禁煙外来への治療費助成を平塚市でも導入し、将来の医療費抑制につながるよう強く求めました。

## 暮らしを守る 耐震化支援

平塚市の木造住宅耐震化補助制度は、昨年度の診断や改修の件数が過去最多となりました。能登半島地震の影響もあり、1981年以前に建てられた旧耐震住宅への関心が大きく高まっています。

一方で、1981年から2000年に建てられた「新耐震グレード」は、当時の基準は満たしているも現行基準には届かず、震度6強以上の地震では倒壊のリスクが指摘されています。

# 来年7月稼働、全校へどう広げる？ 学校体育館の空調整備



学校の体育館は、授業や行事、部活動だけでなく、いざという時には避難所にもなる大切な場所です。

市はまず、大野中、中原中、大住中の3校の体育館に、大風量スポットエアコンをリース契約で導入し、来年7月から稼働予定です。1校あたり約8000万円、3校合計で約2億5000万円が計上されています。

一方、他の自治体では天吊り型エアコンを購入し、1校あたり約5000万円を整備している例があり、平塚



大風量スポットエアコン(参考)

市の方式より初期費用が抑えられています。

市は「受変電設備の増設や維持管理費を含めれば、リース方式が最も安価」と説明していますが、リースでは国の補助金(文部科学省の臨時特例交付金)が活用できず、購入より支払総額が高くなる可能性や所有権の問題などが課題となります。

私は議会で、まずこの3校の導入効果を早期に検証し、その結果を踏まえ、次の整備では国の補助金を活用し計画的に広げるよう強く求めました。

35℃を超える猛暑の中でも、子どもたちが元気に活動できる環境を一日も早く整えたいと考えています。

## 中央公民館休館へ活動の場を絶やさないために

中央公民館は来年10月から休館となり、現



来年10月から休館する中央公

在登録されている約380の団体をはじめ、多くの市民が利用してきた講座や発表の場が失われます。「これか」らどこで活動すればいいのかわからない不安の声が多く寄せられています。市は代替として地区公民館の活用を基本としていますが、地区公民館は規模や設備にばらつきがあり、人気の時間帯には予約が集中する可能性もあります。さらに今後、松原・金田・金目・富士見の各地区公民館も順次改修が予定されており、地域によっては活動場

所がさらに限られる恐れもあります。

私は議会で、市民がこれまで通り活動が続けられるよう、柔軟に代替施設を確保することや、団体ごとの個別相談に丁寧に対応するよう求めました。

これからも「文化活動が盛んなまち」であり続けられるよう、市民の皆さんと一緒に声を届けていきます。

## 土屋小が市内初の小規模特認校へ

土屋小学校は2026年度から、平塚市で初めての小規模特認校に指定され、市内全域から児童を受け入れることになりました。

現在、全校で約80人、1学年10人前後という少人数の良さを活かし、子ども一人ひとりにしっかり寄り添う学びや、地域資源を活かした特色ある体験学習を通じて、学校と地域をともに元気にしていく狙いです。

市は「一定期間後に

LINE公式アカウント登録のお願い

LINE 公式アカウント

# 友だち募集中

@930fkksb  
LINEでお問い合わせ受付中!



元島しん議員と土屋小を視察

成果を見て制度を見直す可能性もある」としています。私は単に児童数を増やすだけでなく、保護者が「ぜひこの学校に通わせたい」と感じるような魅力ある教育を進めることが何より重要だと考えています。

また放課後も安心して過ごせる居場所づくりや、柔軟なカリキュ

ラムの導入など、地域と一緒に子育て子どもたちを育む環境を整えていけるよう、全力で後押ししていきます。

## 委員長就任のご報告

この6月から都市建設常任委員会の委員長を務めています。道路や公園、下水道、住宅、都市計画など、暮らしの基盤を支える重要な分野を担当する委員会です。これから責任を持って市民の声をしっかり届け、安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。皆さんのご意見をぜひこれからもお寄せください。